

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価（月日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒個々に応じた学習指導による基礎的・基本的な学力の習得と定着を図る。 ②社会を生き抜く力の育成を目指し、『学びなおし』の実現に向けた『わかりやすい授業』の実践を推進する。	①中間評価を充実させ、基礎的・基本的な学力の習得の成果を実感させる。 ①ICT機器を有意的に活用する授業改善を推進する。 ②生徒一人ひとりの学習ペースやニーズに応じた指導と『学びなおし』、『わかりやすい授業』の効果を高める。	①中間評価を工夫し、基礎的・基本的な学力習得につながる評価を実施する。 ①ICT機器を場面に応じて適切に選択し、積極的・効果的に活用する。 ②習熟度別学習やTTによる学習環境を効果的に活用した授業展開を実践する。 ②日本語に課題にある生徒に対して補習時間の設定をする。	①学習の振り返りにより理解度や達成度について、自己評価が向上したか。 ①生徒がICT機器を活用した授業内容にて「満足感や充実感」を得られたか。 ②『学びなおし』や『わかりやすい授業』を実感できたか。 ②補習に参加する生徒の日本語レベルが向上したか。					
2	生徒指導・支援	①生徒一人ひとりが抱える課題や教育的ニーズを把握し、生徒に寄り添った支援を組織的に進める。 ②学校行事への主体的な活動を推進し自己効力感を高め、他者との協働により、心の豊かさや規範意識の醸成を図る。	①生徒一人ひとりの教育的ニーズや困難さを理解し、支援体制、相談体制の充実を図り、課題解決と支援につなげる。 ②学校行事等の企画・運営を通じて、生徒の自己効力感と社会性向上を目指す支援体制を整える。	①サポートドックの活用や生徒個々の状況や教育ニーズに応じた分野別の情報共有会を実施し、組織として迅速かつ適切な支援を行う。 ②学校行事等で生徒の自己効力感を育み、ソーシャルスキルトレーニングを活用し社会性を向上させる。 ②登校時の挨拶励行を推進し、生徒の基本的生活習慣の確立を目指す。	①サポートドックの結果やSC・SSW、外部機関との連携により生徒に寄り添った個別支援を行えたか。 ②学校行事やソーシャルスキルトレーニングにより達成感やコミュニケーション能力を得られたか。 ②登校時での教職員や生徒相互間での挨拶が活発に行われたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月日実施)	総合評価 (月日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりのキャリア発達段階に応じたキャリア教育を推進する。 ②個々の進路実現を組織的に支援する指導体制を整備する。	①キャリアパスポートを活用し、生徒自らがキャリアデザイン・キャリア形成できる進路指導を実現させる。 ②キャリア教育の視点から、生徒一人ひとりの希望進路実現に向けた進路指導を行う。	①総合的な探究の時間等を通じて、キャリアプランニングにより職業や進路について興味・関心を持せ、進路選択の幅を広げ職業意識の向上を目指す。 ②インターンシップや進路ガイダンスを充実させるとともに、総合適性検査（S P I）を活用し、生徒の希望進路に向けたきめ細かい指導を行う。	①キャリアパスポートを活用し、総合的な探究の時間等の振り返りよりキャリアプランニングを可視化することができたか。 ②S P Iの活用により、自己の現状を把握し、希望進路実現のために取り組めたか。					
4	地域等との協働	①地域社会やP T Aと連携し、地域に信頼される学校づくりを推進する。 ②生徒の自己効力感を高める活動等、学校情報を積極的に発信し、学校広報活動を推進する。	①学校運営協議会の活性化を図るとともにP T A活動の充実を図る。 ②定時制の特色や生徒の活動を積極的に発信し、魅力ある学校を外部に伝える広報活動に取組む。	①学校運営協議会との連携を深め地域社会と継続的な係りを深め、P T Aとの協働的な取組みより活動内容の理解を深める。 ②ホームページの編集や更新の充実を図り、学校説明会や見学会の実施により本校の魅力を伝える。	①地域社会との継続的な連携を深め協働的な活動を行なえたか。 ①P T A相互活動内容を工夫し理解を深めることができたか。 ②ホームページの更新回数や学校見学の参加者が増加したか。					
5	学校管理 学校運営	①安全・安心して生活できる環境を確立する。 ②コンプライアンス意識を高め、不祥事防止に取り組み、ライフワークバランスの充実を目指す働き方改革を推進する。	①生徒の安全が確保されるよう防災訓練を工夫して、防災意識の向上を図る取組みを推進する。 ②不祥事防止研修会を定期的実施し全教職員での不祥事防止の強化に取組む。 ②職場環境の改善に取組み、教職員の働き方改革を推進する。	①夜間時の避難場所への避難や対応方法など実践訓練を通じて対応力を身につけさせる指導をする。 ②不祥事防止研修会を毎月実施し、全教職員が運営を担い、注意喚起と自己点検を実施する。 ②職場環境整備に取組み、教職員と相談しながら、業務のスリム化や効率化を目指す。	①防災訓練の実施方法の工夫により生徒の防災意識を向上させることができたか。 ②教職員一人ひとりが当事者意識の向上と具体的な不祥事防止を実践できたか。 ②職場環境の改善や業務のスリム化により、働き方改革に結び付いたか。					